

全国決勝大会／競技方法

- **タックル** ・竿はダイワ製品に限らせていただきます。6.0m以上の竿をお使いください。
・仕掛けは、ブロック大会規定と同様といたします。
- **対象魚** ・鮎(10cmの大きさ規定は適用しません。)

● 予戦リーグ	8月23日(土)	第1試合	7:00～ 9:00 (2時間)
		第2試合	10:15～12:15 (2時間)
		第3試合	14:00～16:00 (2時間)

- ・16名の選手は前夜祭の抽選により決定した、4名1組の4つのグループに分かれ、各グループでリーグ戦を行います。
- ・この対戦結果により、各グループから1名の決勝トーナメント代表選手を決定します。
- ・マンツーマン方式により、予め決められたエリアで対戦を行います。
- ・試合開始前に行なうジャンケンで勝った選手が最初に上流エリアに入ります。
- ・競技時間は前半60分、後半60分の合計120分とし、前半・後半でエリアを交替します。
- ・交替は前半終了後10分以内に行ない、交替に要する時間は後半の競技時間に含まれます。
- ・勝敗は、オトリ2尾を含む鮎の総尾数により決定します。
- ・順位は勝ち点で決定します。(勝ち:2点、負け:0点、引き分け:1点)
- ・同点の場合は対戦時の勝敗に順じます。(引き分けの時は重量で決定します)
- ・3すくみの場合は、予選リーグ3試合のトータル尾数で決定します。
- ・トータル尾数が同尾数の場合は、総重量にて決定します。更に同重量の場合は別途協議の上決定します。(釣果の無い場合は、オトリの重量は含まれません)

● 決勝トーナメント	8月24日(日)	準決勝	7:00～ 9:00 (2時間)
		決勝	10:00～12:00 (2時間)

- ・各グループの代表4名により、トーナメント方式の対戦を行ないます。
- ・決勝トーナメントに進出した4名には、翌年の全国決勝大会へのシード権が与えられます。
- ・対戦相手は準決勝抽選会で行なわれる抽選で決定します。
- ・マンツーマン方式により、予め決められたエリアで対戦を行います。
- ・試合開始前に行なうジャンケンで勝った選手が最初に上流エリアに入ります。
- ・競技時間は前半60分、後半60分の合計120分で前半・後半でエリアを交替します。
- ・交替は前半終了後10分以内に行ない、交替に要する時間は後半の競技時間に含まれます。
- ・勝敗は、オトリ2尾を含む鮎の総尾数により決定します。
- ・同尾数の場合は、総重量にて決定します。
- ・同尾数・同重量の場合は、予選リーグ3試合でのトータル尾数により決定します。
- ・予選リーグ3試合の釣果が同尾数の場合は、総重量にて決定します。更に同重量の場合は別途協議の上決定します。(釣果の無い場合は、オトリの重量は含まれません)

● シード権争奪戦	8月24日(日)	7:30～9:30 (2時間)
------------------	----------	-----------------

- ・各グループ2位以下の12名の選手により、シード権争奪戦を行ないます。
 - ・シード権争奪戦の結果、上位3名には翌年の最寄のブロック大会決定戦へのシード権が与えられ、4位から12位の選手には翌年の最寄のブロック大会予選へのシード権が与えられます。
 - ・競技時間は120分とし、決められたエリアで自由に釣果を競い合います。
 - ・オトリの配布は予選リーグ3試合のトータル釣果の多かった選手から順に行ない、入川宣言をしてポイント入ります。その際、トラブル防止の為に追い越しは禁止です。
 - ・オトリ配布と試合開始時間は異なります。
 - ・勝敗は、オトリ2尾を含む鮎の総尾数により決定します。
 - ・同尾数の場合は、総重量にて決定します。
 - ・同尾数・同重量の場合は、予選リーグ3試合でのトータル尾数により決定します。
 - ・予選リーグ3試合の釣果が同尾数の場合は、総重量にて決定します。更に同重量の場合は別途協議の上決定します。(釣果の無い場合は、オトリの重量は含まれません)
- ※尚前年優勝者が決勝トーナメントに出場できなかった場合、自動的に翌年開催の最寄のブロック大会決定戦にシード登録されます。
その場合、シード権争奪戦には出場せず11名で競技を実施しますが、ブロック大会決定戦シード選手3名枠の変更はありません。